



2020年4月27日

各位

上場会社名 さくらインターネット株式会社
 代表者 代表取締役社長 田中 邦裕
 (コード番号 3778)
 問合せ先責任者 取締役 川田 正貴
 (TEL 06-6376-4800)

業績予想と実績値との差異及び特別損失（減損損失）の計上に関するお知らせ

当社は、2020年3月期決算において減損損失を特別損失へ計上するとともに、2020年1月31日に公表した業績予想と実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2020年3月期の連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	21,800	690	540	140	3.84
実績値(B)	21,908	939	789	160	4.39
差異(B-A)	108	249	249	20	
増減率(%)	0.5	36.1	46.2	14.4	
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	19,501	567	395	91	2.44

(2) 修正の理由

売上高につきましては、期末に向けた営業努力や主要サービスのさらなる拡販等により前回発表予想を108百万円上回りました。

利益面につきましては、売上高の増加に加え、ITM社が予想を上回る再建スピードで推移したことやグループ会社の収益改善によるものとして80百万円増、新型コロナウイルスの影響で出張や顧客向けイベントなどの活動減少に伴い経費が30百万円減少したことなどにより、営業利益は業績予想を249百万円、経常利益は業績予想を249百万円それぞれ上回りました。また、当期純利益につきましては後述の減損損失を計上いたしましたが、経常利益が業績予想を上回ったこと等により、業績予想を20百万円上回りました。

2. 特別損失の計上について

当社は、機器の運用管理システムの開発を 2014 年より続けておりましたが、当初想定した物理環境ではなくクラウド中心のニーズが高まったこと、また、当社は今後クラウドビジネスに集中していくという方針から、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき回収可能性を検討し、将来の収益見込み等を勘案した結果、今後の使用が見込まれない構築途上のプログラム部分等について 減損処理を行うことといたしました。

当該事象の発生により、2020 年 3 月期の連結及び個別決算において、減損損失 286 百万円を特別損失に計上するとともに、法人税等調整額△87 百万円を計上いたしました。

以上